

今週（4月15日から4月19日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、前週に引き続き資金調達ニーズの強い展開となった。

無担保コールO/N物は、積み期が切り替わる週ではあったものの、取り手の調達姿勢に大きな変化はなく、レート水準は概ね横ばい圏で推移し、週を通して0.075~0.078%での取引が中心となった。また、オファーサイドの運用額が日を追うごとに減少したことで、O/N物の取引残高は18日(木)には3.4兆円台まで減少した。

ターム物は、1W~3Mの期間で、0.13~0.20%近辺で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初15日(月)に年金定時払いを受け、568兆円台まで増加してスタートし、その後も週半ばまで概ね横這い圏での推移となった。18日(木)以降は、国債買入オペや財政資金の支払いにより570兆円強まで増加して推移する展開となった。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、▲0.02~+0.085%近辺で推移し、日が経つにつれオファー優勢の展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y440~459回、5Y150~167回、10Y355~374回、20Y180~187回、30Y65~81回、40Y13~16回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場では、1Yゾーンの水準が入札前に調整される展開となった。

18日(木)に実施された1Y物の入札は事前の予想に対し強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。19日(金)に実施された3M物の入札は前回債よりやや甘めの結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは小じっかりと推移した。

なお、短国買入オペは3月12日(火)のオファーを最後に、5週連続で見送られた。

●CP市場

今週のCP市場は、その他金融業、鉱業、鉄鋼業など複数の業態で大型発行がみられた。

市場残高は、22兆円前半での推移が続くなか、18日(木)時点で22.4兆円となり、前週末対比で4,500億円程度増加した。

発行レートは、0.1%以上での推移となったが、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/15 (月)	39,232.80	0.860	153.39	0.077	0.062	5,685,600
4/16 (火)	38,471.20	0.865	154.36	0.077	0.041	5,689,800
4/17 (水)	37,961.80	0.885	154.73	0.077	0.019	5,674,900
4/18 (木)	38,079.70	0.865	154.35	0.077	0.015	5,703,200
4/19 (金)	37,068.35	0.830	154.66	0.077	0.043	5,710,500

来週（4月22日から4月26日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/22 (月)					
4/23 (火)		2Y 26,000億円 5/1発行	交付税借入 13,000億円 5/2借入		3月の米新築一戸建て販売件数
4/24 (水)	3月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)				3月の米耐久財新規受注
4/25 (木)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00~)				1-3月期の米GDP速報値
4/26 (金)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 4月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)				3月の米個人所得・消費支出(PCE)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/22 (月)	▲ 200	1,400	1,200	CP買入 社債買入 国債補完	▲ 600 ▲ 500 29,600	1,000	29,500	30,700	TB3M発行▲58,000 償還56,000 TB1Y発行▲32,000 償還35,000 エネルギー対策借入▲8,100 期日8,500
4/23 (火)	▲ 500	1,000	500				0	500	
4/24 (水)	▲ 500	1,000	500				0	500	交付税借入▲13,000 期日13,000
4/25 (木)	▲ 1,000	▲ 4,000	▲ 5,000				0	▲ 5,000	
4/26 (金)	▲ 1,000	8,000	7,000				0	7,000	
週間合計	▲ 3,200	7,400	4,200	—	28,500	1,000	29,500	33,700	

4/22は日銀予想、4/23以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれ、レートは今週と同水準での推移が予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、▲0.03~+0.08%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、入札の予定はない。また、短国買入オペは、3月12日(火)以降オファーが見送られており、引き続き需給状況に左右されるが、オファーされるとすれば23日(火)に1,000億円程度での実施が予想される。CP市場は、24日(水)にCP等買入オペ、25日(木)に月末発行集中日が予定されており、連休を控え、市場残高がどこまで膨らむか動向が注目される。

主要なイベントは、国内では25日(木)~26日(金)に日銀金融政策決定会合、26日に経済・物価情勢の展望、4月の都区部消費者物価指数、海外では、23日(火)に3月の米新築一戸建て販売件数、25日(木)に1-3月期の米GDP速報値、26日(金)に3月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。